

君の

今日も視界良好

vol.029

◎ 苦勞に苦勞を重ねて働く

中小企業診断士 長尾 康行

皆様、こんにちは。フラッグシップ経営代表、中小企業診断士の長尾です。

8月24日から26日まで香港・マカオへと旅行していました。26日の夜に帰国すると行く前よりもだいぶ涼しくなっている事に驚きました。また、この原稿は8月29日の夜に執筆しているのですが庭から鈴虫の音色が聞こえます。もう秋の訪れを感じますね。

さて、今回は「働き方」について考えたいと思います。働き方と言えば「働き方改革」という言葉はもう十分に浸透していますが、働き方を知らない人が働き方改革を声高に叫ぶことに違和感があります。働き方については人それぞれの考え方があるかと思いますが、私は苦勞を重ねることが仕事をする上では大事なのではないかと思います。苦勞に苦勞を重ねて人間が形成され、やり甲斐、充実感を生み、所得に跳ね返ってくるのです。苦勞は肉体的や精神的なものではなく、情熱を持ち続ける事、あきらめずにやり続ける事の苦勞が重要だと思います。

最近パソコンやネットを使って表面的な作業を仕事と思ひこみ、勉強も成長も望まない方も増えています。

人生をあきらめていると申しますか消化試合のような仕事の仕方をしています。

非常にもったいない人生だなと思います。

自ら苦勞してでも「成長したい」という意欲があれば何歳からでも充実した人生を送ることが可能だと考えています。「今さら」とか「どうせ何もできないし」とあきらめるのではなく、苦勞に苦勞を重ねる事で自分なりの充実した働き方を見つけることが重要ではないかと思います。

生産性を高め、多様な働き方を推奨する「働き方改革」は単に就業時間を短くするだけではなく、一人一人が能力を高めて初めて成り立つものです。会社が何かの仕組みを導入すれば実現できるものではありません。短い時間でこれまで以上の成果を出すには、まずは苦勞が伴います。スポーツ選手もそうですが成功の裏側ではとてつもない長い道のりと苦勞があるのです。そういったことを知らない、もしくは理解しない状態で「働き方改革」と声高に叫び、楽な仕事をしていると、周りの生産性を下げる要因になり全体のパフォーマンスが下がることもあります。頑張らない方がカッコイイという風潮と働き方改革の誤った解釈がどうにも似ているような気がしてなりません。

仕事には苦勞はつきものであり、その上で適正な労働時間と休日確保して物心共に豊かな人生を送ることが本当の幸せではないでしょうか。ちなみに私は「馬車馬のように働き、王様のように遊ぶ」というポリシーです。



◎ お盆休みに台湾へ

先月号ですすでにご報告していた通り、お盆休みに母親と姉を台湾に連れて行きました。私は3回目、二人は初めてということで定番のコースを周りました。九扮、中正紀念堂、士林夜市、101の鼎泰豊という一度でも台湾に行ったことがある方ならお馴染みの観光名所ですね。実は私、10年ほど前に旅行に目覚め、頻りに海外に行っているのですが、それまでは旅行には全く興味がなかったのです。もっと若い時に色々行っておけばよかったなあとおもいますが、まだ比較的若いのでこれからも行ったことがない国へどんどん出かけたいと思います。お勧めの国がありましたら教えてください。



◎ DAZN と AmazonTV が平日の癒し

連日仕事がハードな私ですが、寝る前に動画を見るのが楽しみです。今はDAZN（ダゾーン）でヨーロッパのサッカーのハイライトをチェックし、AmazonTVでアメリカのドラマ「SUITS」を見るのが定番になっています。でも、ベッドに入りスマホをセットした次の瞬間に寝てしまっているのがいつも中身まで辿り着けないので、いつかゆっくりと動画三昧の日を1日作りたと思います。



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-8-2 三見ビル2階

TEL：0120-34-8776

FAX：06-7635-8214

MAIL：info@flagship-keiei.co.jp

URL：www.flagship-keiei.co.jp



株式会社フラッグシップ経営 Facebook ページ

「いいね」お待ちしております。



株式会社フラッグシップ経営 Twitter

@flagship_keiei にて随時情報発信中！

